

職員による自己評価

A環境面

狭く感じることもあり。

B児童への支援内容

商業地域の特性活かし、買い物や外食、公共交通機関を利用した外出を行っている。

C関係機関との連携

基幹センターや区役所のワーカーと連絡を密にしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

面談を半年に一度行っている。  
何かあればすぐ保護者に連絡している。

E非常対応

保護者の携帯に連絡

保護者による評価

A環境面

狭いと思う事あり

B児童への支援内容

高評価

C事業所からの情報発信

面談時や保護者会の開催、定期的に通信を発行している。

D非常対応

問題なし

事業所内での分析

【共通点】

- ・環境面—狭いと感じることがあり。

【相違点】

- ・スタッフの専門性に関すること。  
あえて、スタッフの資格や経歴は公表していない。(スタッフの個人情報保護のため)

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

生活スキルをみにつけるための、取り組みを色々行う環境が整っている。  
駅に近いこと、商業施設が近くにあるので、生活体験の場があることが強みである。  
文庫第2と併用利用することで、学習面に対しても力を入れることが出来ている。

### 事業所の改善点

- ・利用者の特性を理解し、飛んだり跳ねたりしないよう、行動療法を行っていききたい。
- ・スタッフの支援員としてのスキルアップ。
- ・その為の施設内研修や外部研修の参加。
- ・近隣住民に配慮し騒音等気をつけていく。

### 事業所の改善への取り組み

- ・指標該当ありの行動障害のある利用者の受け入れ、また該当児童と他の児童との対応がまだ確立されていない。その為、学び色々取り組み評価をしていきたい。
- ・保護者のニーズにあった支援を今後も出来るだけ提供していききたい。(学習、生活スキルアップ、コミュニケーション能力など)

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

3回目で保護者も慣れてきたためか、コメントがほぼなく高評価をいただいた。今後も今回同様の評価を頂けるよう、スタッフ一同取り組んでいきたい。

事業所名 プレップサポートセンター金沢文庫

担当者 秋本 愛